



その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.042

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブログ】 www.nippon-dream.com/

ギリシア語で全ての神々を意味する「パンテオン」は万神殿と訳されます。ローマ市内に位置するパンテオンも、英語読みでシユピターミネルヴァ、ヴィーナス、マーキュリー、ネプチューン等のローマ神を奉る空間でした。物の本に拠れば、円堂の直径43・2m。半球型の円蓋も高さ43・2m。天井には、ラテン語で目を意味するオクルス＝眼窓なる符丁があり、窓から降り注ぐ雨露で床の大

理石が濡れそぼちます。正直、変哲も無き構造。が、ローマのパンテオンは建築史に欠かせぬ存在です。西暦128年、ハドリアヌス皇帝の治世に建立されました。では、他の遺跡と異なり何故、現在も供用に耐え得る世界最古の建造物なのでしょう？

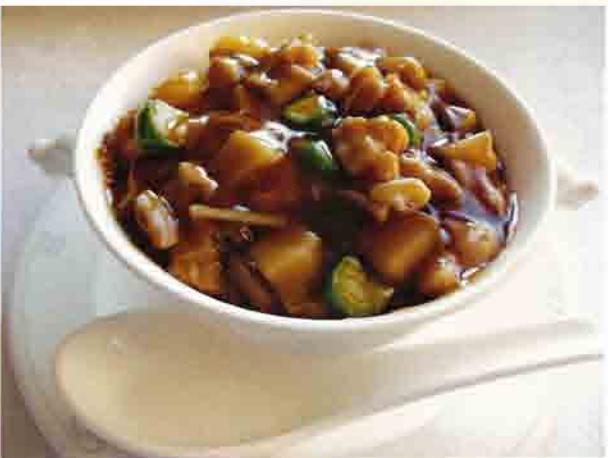
全ての力が集中し、全ての力が拡散する円蓋のオクルス＝眼窓に、付着している脂肪を丹念に剥がし、金華ハム、鶏、豚等で出汁を取つた上湯で仕上げる魚翅も、魚の浮

する「福臨門魚翅海鮮酒家」は香港が発祥地。当初は富裕層の邸宅に出向いて料理を供する仕出しで耳目を集め、後に香港島の湾仔で店舗を構えました。鱈、鮑、燕の巣、フランス料理に於けるトリュフ、フォアグラ、キャビアと比肩する「三大食材」をふんだん用いた料理で知られます。

日本の皇室は全ての力が集中し、全ての力が拡散するパンテオンのオクルス＝眼窓と似ている、と以前から述べてきました。邪思疑惑を齎し、倒壊も損壊も免れ、今日に至ります。さて、今日は、この構造力学上の秘密が有ります。絶妙な均衡を齎し、倒壊も損壊も免れ、今日に至ります。天候が優れぬ日には、その

全ての力が集中し、全ての力が拡散する、パンテオンのオクルス＝眼窓の如き天皇家

今週の逸品



福建炒飯(2~3人前) 2520円

前菜・牛挽肉とコリアンダーとろみスープ、点心4品、南瓜と鶏肉の黒豆味噌煮込み、金華ハムと干貝柱、卵白のあっさり炒飯、和葉入りココナッツミルクのお汁粉で1人4830円の午餐は2名から。点心は14種の中から4品を選択。窓際の座席を予約の上、帰里から上京の親族と利用すると考えれば

ヴァリュー・フォー・マネー。中国茶も過不足なく取り揃え。晚餐も家菜料理を中心

にアラカルトで選択すれば過盛で堪能可能。

福臨門魚翅海鮮酒家 丸ビル店 東京都千代田区丸の内2-1丸の内ビルディング3階 TEL:03-3231-2002 水平日:11:00~16:00(L015:00), 17:00~21:00(L021:30), B-席:11:00~16:00(L015:30), 17:00~22:00(L021:00) 営業 分煙 <http://www.fookiammoon-grp.com>

illustration by Hajime Anzai



袋や海鼠と煮込んだ日本産の干鮑も、その屹立振りは凡百の中国料理店と異なります。懷具合が許すならば試すに値します。然れど福臨門の神髓は家菜料理でも味わえるのです。清炒と表記された青菜炒めは、豆苗、青梗菜、更には時菜と呼ばれる油菜と、その都度、最も旬の野菜が登場します。晩餐と比べたなら遙かに適価で味わえる午餐の飲茶も推薦に値します。何れも透き通った水晶皮で包まれた海老蒸餃子、二郎入り餃子、キヌガサダケ入り精進野菜の蒸餃子に加えて、豚肉の湯葉包み牡蠣ソース煮、魚翅入りスープ餃子を頂るのが常です。

台湾海峡に面する貧しき福建省は、広東省と並んで数多くの華僑の郷里。その名を冠した福建炒飯も僕の定番。貝柱、海老、アスパラガスを始めとする魚貝と野菜を餡掛けした逸品です。日本の皇室は全ての力が集中し、全ての力が拡散するパンテオンのオクルス＝眼窓と似ている、と以前から述べてきました。邪思疑惑を齎し、倒壊も損壊も免れ、今日に至ります。さて、今日は、この構造力学上の秘密が有ります。絶妙な均衡を齎し、倒壊も損壊も免れ、今日に至ります。天候が優れぬ日には、その

皇居を一望したなら、改めて実感するでしょう。

東京、大阪、名古屋に支店を擁

する「福臨門魚翅海鮮酒家」は香港が発祥地。当初は富裕層の邸宅に出向いて料理を供する仕出しで耳目を集め、後に香港島の湾仔で店舗を構えました。鱈、鮑、燕の巣、フランス料理に於けるトリュフ、フォアグラ、キャビアと比肩する「三大食材」をふんだん用いた料理で知られます。

日本の皇室は全ての力が集中し、全ての力が拡散するパンテオンのオクルス＝眼窓と似ている、と以前から述べてきました。邪思疑惑を齎し、倒壊も損壊も免れ、今日に至ります。天候が優れぬ日には、その